



憲法が輝く兵庫県政をつくる会

第12号 2013年3月25日

メール: Info@kenpo-kensei.com

HP・ブログ・ツイッター

「兵庫・憲法県政の会」検索! 【部内資料】

知事選挙まで4カ月 「人にやさしい県政」を

県下20カ所でいっせいでん

兵庫県知事選挙(7月21日投票予定)まで、あと4カ月となりました。
「兵庫・憲法県政の会」は3月17日、県下20カ所でいっせいでんに取り組み、「人にやさしい兵庫県政」への転換を県民に呼びかけました。

神戸元町・大丸前では、田中耕太郎代表幹事の司会で9人がリレートークしました。

ZEROこねつと・岸輝彦さん

「毎週金曜日の関電神戸支店前の行動は37回となり、参加者はのべ4000人を超えた。兵庫から原発ゼロ、核兵器ゼロを発信する知事を」

新日本婦人の会兵庫県本部 事務局 次長・由利美香さん

「こども医療費は県民の運動で少しずつ改善されているが、全国からみるとまだ遅れている。子育て支援へ

兵庫県高等学校教職員組合 書記次長・松岡敦之さん

「県内過半数の市町が反対または慎重にと言っている県立高校の通学区拡大を実施しようとしている。生徒、保護者に大きな負担となる通学区拡大はストップを」

兵庫県保険協会 副理事長・武村義人さん(「会」代表幹事)

「県医師会も反対しているこども病

中学生までの医療費完全無料化の現状を」

兵庫県高等学校教職員組合 書記次長・松岡敦之さん

「県内過半数の市町が反対または慎重にと言っている県立高校の通学区拡大を実施しようとしている。生徒、保護者に大きな負担となる通学区拡大はストップを」

兵庫県保険協会 副理事長・武村義人さん(「会」代表幹事)

「県医師会も反対しているこども病

院のポータライランド移転は見直すべき。18年前の大震災で市民病院は機能しなかったではないか」

自由法曹団兵庫支部 事務局長・松山秀樹さん(「会」代表幹事)

「兵庫県は18年前の震災被災者を公営住宅から追い出そうとしている。『ついのすみか』からの追い出しは、公営住宅法からも憲法の生存権からもおかしい」

兵庫県労働組合総連合 議長・津川知久さん

「県内で働く人の37%240万人が非正規労働者、若者では49%にもなり、きびしい暮らしを強いられる。非正規労働者をどどんとつくる大企業へ青天井の補助金を渡す県政を変えよう」

原水爆禁止兵庫県協議会 事務局次長・梶本修史さん

「但馬では米軍による低空飛行訓練が繰り返され、ドクターヘリを危険にさらしている。その上オスプレイも訓練しようとしているが県は中止を求めている。知事は飛行訓練中止の立場にたつべき」

日本共産党兵庫県委員会 書記長・松田隆彦さん

「県民の切実な願い、声を聴かない人に、兵庫県政をまかせるわけにはいかない。冷たい県政から、県民のみなさんと心が通う新しい兵庫県政を」

田中耕太郎「会」代表幹事

「知事選挙は、落ち込んだ兵庫の経済を立て直し、県民の生きる希望が持てる県政にするかどうか問われる。福祉・生活重視ときめ細かい公共事業、自然エネルギーへの転換を進めて、仕事と雇用を増やし、経済を上向かせる県政を実現しよう」



のり(憲) のり(法)



コラム

但馬で、米軍機の低空飛行が目撃されたのは1994年5月。全国に7本の低空飛行訓練ルートが存在していることが判明しているが、島根、広島、鳥取、岡山、兵庫の5県46市町村(当時)のルートは「ブラウンルート」と呼ばれている。94年から11年12月までに452日の飛行が確認されている。

この低空飛行は、敵地に百数十機の超低空で攻め入る訓練で、爆音に子どもが驚いて高所から転げ落ちた、自治体の会議が中断したなどの被害も数多く報告されている。

オスプレイによる低空飛行は、これまでの戦闘機とは比べ物にならない危険を作り出している。公立豊岡病院を拠点に運用されているドクターヘリは、11年度だけで1254回も出動している。運航範囲内には朝来市40カ所、養父市45カ所の離着陸場が設けられており、傍若無人の低空飛行訓練を行う米軍機の飛行ルートと完全に重なっている。

兵庫知事名で防衛大臣宛に出された「要請書」は、兵庫県で訓練が行われる場合には情報の提供を」とするだけで、他の自治体のように飛行中止を要求する態度をとっていない(沖縄県知事・県議会・県内41市町村すべての首長・議会、全国知事会、低空飛行訓練空域の164自治体で反対決議)。

米軍が事前に飛行計画を通知することはあり得ないし、ドクターヘリもいつ出動するかは決まっていないのだから安全確保のためには米軍機の飛行中止しかないのは明白だ。姫路港に3度にわたって米軍艦の寄港を容認した兵庫知事は、今度は、兵庫県の空も米軍の思うままに飛行させ県民の安全を危うくするのだから。

すべての加入団体、地域の会が県民の中に打って出よう

3月17日の一斉宣伝は、県下20カ所で取り組みました。「安倍首相は危険、がんばって」とカンパ、「県立こども病院のポートアイランド移転反対の署名に反応高い」などの報告が寄せられています。一方で知事選挙があるのを知らない、住民に県政と暮らしが結びついていないなど、もっと県民の中に打って出る重要性が明らかになっています。



オレンジジャンパーで宣伝(垂水区の会)



「市長選挙の会」とコラボ宣伝(伊丹の会)



こども病院署名への反応高い(灘区の会)



「住民本位の自治体をつくる兵庫区の会」結成

「兵庫区の会」は3月19日夜、「住民本位の兵庫区の会」準備会と共催で、「住民本位の自治体をつくる兵庫区の会」学習・結成総会を開き47人が参加しました。新たに結成された「兵庫区の会」は、7月の県知事選挙、10月の神戸市長選挙に向け、「兵庫・憲法県政の会」及び「あつたか神戸の会」(準備会・3月29日結成予定)の地域の会として活動します。当面の活動として、参加団体で県政、市政の学習会、小集会を開催する。3月29日「あつたか神戸の会」結成総会、4月26日「兵庫・憲法県政の会」2000人のつどいへの参加

を強める、団体構成員に両会の二ユースを増刷して届けること、などを確認しました。総会に先立ち、兵庫県自治体問題研究所の小田桐功事務局長と共産党大瓦鈴子市会議員を講師に県政、神戸市政について学



神戸市政について学

「長田の会」体制強化、4月26日参加を論議

「長田区の会」は17日午後、大正筋商店街で6団体20人が参加して宣伝行動に取り組みました。その後、21日には体制の強化などを目的に会議を開催し7団体8人が参加。「兵庫・憲法県政の会」から知事選挙をめぐる状況と取り組みの到達などの報告を受け、次回会議を4月9日に開催し、4月26日「2000人のつどい」への参加を強めることなどを確認しました。



人にやさしい兵庫県政へ

2000人のつどい

大倉山 神戸文化大ホール

(JR神戸駅から10分 私鉄高速神戸駅から8分)

4月26日(金) 19時

(18時30分開場)



原発も核兵器もNO(3月10日「あれから2年集進」ではなく、兵庫から「原発ゼロ」の発信を)

「消費税増税は必要」と県知事回答

「3.13県実行委員会」要請
兵庫県知事は、消費税増税に反対することなどを求めた「3.13県実行委員会」に対し、「消費税・地方消費税は、... 今後も増嵩(ぞうすう)する社会保障財源として確保されたものであり、安定的な社会保障給付を行う上で必要なものと考えています」と回答しました。

日本経済を回復させるには、国民のふところを温める政策に転換することが求められています。知事の消費税増税の立場は、増税による県民生活、地域経済への打撃を考慮せず、国民本位の景気回復に真っ向から反するものです。



自民党県連前をデモ行進「3.13中央区行動」